

公益財団法人朝日新聞文化財団 2024 年度事業計画

(はじめに)

我が国の 2023 年の経済成長率は、主要 7 か国 (G7) で 2 番目の高さとなった。コロナ禍収束に伴いインバウンドや車の生産、サービス消費が持ち直し、景気回復が本格化した。エネルギー価格高騰や歴史的水準の円安を契機に、価格転嫁の進展と賃金上昇によるインフレ状態が継続し、デフレ経済を抜け出す期待が高まっている。日本企業の経常利益は 2023 年第 3 四半期に過去最高を更新し、日本経済は 24 年も引き続き緩やかな回復持続が見込まれる。ただ、その恩恵が広く公益法人セクターに及ぶまでには至っていない。

日本銀行が近くマイナス金利政策を解除しても、緩和基調は当面続くとみられる。また、日本経済の回復と企業業績の好調さ、金融政策の動向を背景に、海外投資資金が流入し国内株式市場は足元で急回復している。寄付金、協賛金の増加が容易ではなく、超低金利も続くなかで当財団は基本財産の一部について、安全性を重視しつつ運用による増収策に取り組んでおり、運用環境の改善は好ましい変化ではある。

文化、芸術、学術活動を支援・顕彰し、良質な舞台芸術を提供する当財団の公益事業を持続していくため、保有資産から得られる果実を最大限活用し、限られた財源のなかでもメリハリの効いた事業運営を引き続き目指したい。

(事業計画の柱)

① 大阪国際フェスティバル (OIF) は、創設 62 回目を迎える。新型コロナによる行動の制約が概ね解かれ、前年度より一つ多い 4 公演を実施する。

内容は、まず 4 月に「関西 6 大オーケストラ」の演奏会でスタート。春の定番となった「大阪 4 大オケ」公演が 10 年目を迎える記念に、京都、神戸の楽団も加わる特別版とする。6 月には首席客演指揮者・鈴木優人と関西フィルハーモニー管弦楽団、8 月に音楽監督の尾高忠明指揮による大阪フィルハーモニー交響楽団の公演を行う。11 月には来日 40 回目となるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団公演を、OIF として 4 年ぶりに主催する。コロナ禍の影響も大きかった地元音楽関係者に活動の場を提供しつつ、引き続き OIF ならではの企画で大阪発の音楽・文化発信に注力する。

② 2024 年度の芸術活動助成事業は、若干規模を縮小しつつもメリハリの利いた助成・支援を継続する。助成金の原資を賄うべき新聞社からの寄付金は減額が続いているが、理事会、評議員会で継続への自助努力を強く促していただいたことにも鑑み、運用等で得られた資金を助成原資として活用し、安定的に事業を続ける体制を構築する。

③ 22 年度から着手した基本財産の投資運用にあたっては、引き続き資金運用規定に基づき、債券、株式等により安全かつ収益性が見込める投資先を確実に増やしていく。

(主な事業内容)

1. 音楽会、美術展覧会等の事業に対する助成（定款第 4 条 1）

音楽祭、美術展覧会の開催等の芸術活動に対し助成する。24 年度実施事業の申請受付は 23 年 10 月 31 日に締め切り、応募は音楽 207 件(前年 177 件)、美術は 127 件(前年 115 件)の計 334 件だった。選考委員会は 24 年 2 月 1 日（美術分野）と 2 月 7 日（音楽分野）に開催。1500 万円の通常助成に、昨年度から延期された 6 事業 60 万円を加え、125 件 1560 万円の助成を実施する。

WEB システムに一本化した受付事務については、電子申請システムの改良を重ね、また、付帯した機能を活用することにより選考作業の効率化と質的向上とにつながっている。

2. 文化財の保護等のための事業・活動に対する助成（定款第 4 条 2）

24 年度の実施事業は 23 年 6 月中（WEB は 7 月 5 日まで）に申請を受け付け、9 月の文化財保護助成選考委員会で 41 件の申請の中から継続複数年事業を含め 33 件、合計 5030 万円の助成を決定した。また、文化財保護や修復・公開の重要性を啓蒙普及するシンポジウム等のイベントの朝日新聞社との協力開催も継続する。本年度も助成申請はWEB と書類との並行受け付けを継続し、FB や直接訪問を含めた助成事業のフォローアップ活動を充実させていく一方で、当財団の助成金制度をより広く認知してもらうための関係者への訪問や情報交換なども強化していく。

3. 文化・学術等の向上に寄与した者に対する顕彰（定款第 4 条 3）

芸術家、研究者等に対する顕彰を目的として朝日賞を贈呈する。近年の業績を主な対象に幅広く候補者を調査し、例年 11 月末から 12 月初めに開く朝日賞選考委員会で若干名選定する。

4. 音楽会等の公演の主催（定款第 4 条 4）

第 62 回となる大阪国際フェスティバルは、春の定番となった「大阪 4 大オケ」公演の 10 年目を記念する『関西 6 オケ！2024』で 4 月 20 日に開幕する。6 月 12 日には鈴木優人による関西フィルハーモニー管弦楽団を、8 月 2 日には尾高忠明による大阪フィルハーモニー交響楽団を行う。11 月 9 日にはウィーンフィル管弦楽団公演を OIF として 4 年ぶりに主催する。

以上